

案の項目		見出し	意見要旨	市の対応（※ページは案のページ）
項目	ページ			
電気・ガス・水道	震175	停電対応・エネルギー確保の多様化	<p>災害による大規模停電発生時の災害対策本部等、災害対応拠点の機能確保と、72時間を超える停電に対する備えとして、エネルギーの自立化・多重化が有効であることから、都市ガスコージェネレーションシステムなどの自立分散型エネルギー等によるエネルギーの確保を推進方針に盛り込むことは重要と考える。また、災害時のみならず、通常時においても活用できる高効率なコージェネレーションシステムによる自立分散型エネルギーの普及拡大への取り組みは、安定したエネルギーの確保と地球温暖化対策とを両立できる取り組みとして有効であると考えている。防災・減災対策との横断的連携による推進する施策については、フェーズフリーの考え方を含む多角的な視点から検討するなど柔軟な考えを取り入れていく必要があるため、以下の内容に修正したい。</p> <p>(変更前) 市は都市機能の維持に向けた電力を確保するため、発電設備を備えた防災拠点の整備や拠点施設の機能を維持し、自立・分散型電源の整備を進めるとともに電源設備等については、安全性の確保や平時からの点検、操作訓練等に努めていく。またLPガスを活用するなど、エネルギーの確保に向けて民間事業者との連携を推進する。</p> <p>(変更案) 市は都市機能の維持に向けた電力を確保するため、発電設備を備えた防災拠点の整備や拠点施設の機能を維持し、自立・分散型電源の整備を進める。電源設備等については、多様なエネルギー(都市ガス、LPガス等)により平常時にはコージェネレーションとして有効活用するとともに災害時にも電力を確保できるよう、平時からの安全性の確保や点検、操作訓練等に努めていく。電源の確保に向けては民間事業者との連携を推進する。</p>	<p>以下のとおり、記載を修正します。</p> <p>【変更案】 市は都市機能の維持に向けた電力を確保するため、発電設備を備えた防災拠点の整備や拠点施設の機能を維持し、自立・分散型電源の整備を進める。電源設備等については、多様なエネルギー(都市ガス、LPガス等)の活用によるコージェネレーションシステムの有効性を研究するとともに、再生可能エネルギーの活用など、災害時にも電力を確保できるよう、平時からの安全性の確保や点検、操作訓練等に努めていく。またLPガスを活用するなど、電源の確保に向けて民間事業者との連携を推進する。</p>